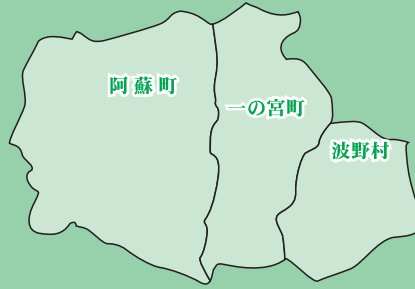


阿蘇中部3町村



合併協議会だより

発行責任者 / 阿蘇中部3町村合併協議会 会長 河崎敦夫 編集・発行 / 阿蘇中部3町村合併協議会事務局 一の宮町宮地1957-4 ☎0967-35-4011
ホームページアドレス <http://www.aso.ne.jp/~asochubu/>

廃置分合申請書を県知事に提出



7月12日に阿蘇中部3町村（一の宮町、阿蘇町、波野村）の各町村議会において、廃置分合及び関連議案が可決されたことを受け、7月26日に3町村長、議長らが県庁を訪問し潮谷義子熊本県知事に廃置分合の申請書を提出しました。

3町村を代表して、河崎会長が「これまで紆余曲折、様々な問題があったが、関係町村の住民の方をはじめ、協議会委員、町村議会議員の方々に深いご理解とご協力をいただき、今日の運びとなった。これまでの県のご指導ご支援に深く感謝するとともに、今後も幹線道路の整備、阿蘇地域の振興発展にご支援をお願いしたい。」とあいさつ。

潮谷知事は「これまでの合併協議の中で、様々な課題を克服され、今日を迎えられたことに敬意を表す。新市「阿蘇市」が「世界の阿蘇市」として、いろいろなところで認知されていくことを期待している。新市が目指す「国際環境観光都市」の実現に向けて、課題の解決に県としても一緒になって取り組みたい。」と述べられました。

今後、県議会においてこの廃置分合議案を審議いただきますが、可決されると県知事の決定を経て総務大臣への届出が行われ、総務大臣の告示により法的な手続きがすべて終了し、「阿蘇市」が誕生します。



廃置分合申請書



第7回協議会 4月13日(火)

場所

阿蘇町／農村環境改善センター

協議事項

○阿蘇市建設計画（概要版）の作成について

事務局提案のとおり承認されました。

※概要版については、印刷のうえ各家庭に配布します。阿蘇市建設計画については、合併協議会のホームページでご覧になれます。



その他

○委員の交代について

委員の交代があり、岩下直昭委員に代わり金田和洋委員が、阿南輝和委員に代わり、橋本幸生委員が新委員として就任しました。

第8回協議会 7月6日(火)

場所

波野村やすらぎ交流館

協議事項

○小委員会報告

家入委員長から、庁舎建設等に関する小委員会の協議結果について報告を行い、報告のとおり承認されました。

○報告第十号 平成十五年度法定協議会歳入歳出決算並びに監査報告について

平成十五年度法定協議会の決算について事務局から報告が行われました。その後、堀監査委員から監査報告がなされ、報告のとおり承認されました。

○阿蘇市「市章」の選定方法について

事務局提案のとおり承認されました。

※詳細については別紙をご覧ください。

その他

委員から、五月八日の新聞紙上で掲載された阿蘇駅周辺開発事業について、基本構想や財源内訳、合併後の事業内容等について質問があり、阿蘇町からこれまでの経緯、事業計画や事業費、年次計画について説明が行われました。

また、各町村の継続事業を含め、平成十七年度以降の合併後の事業については、新市の財政状況を踏まえ、市民の皆様の意見を十分踏まえつつ、新市の体制の中で決定していくことが報告されました。

今回の協議において

確認された事項

小委員会報告事項

一、一の宮町、阿蘇町、波野村の庁舎及び支所の新築・改築・改修等に関する事項

一の宮町の本庁舎の改築・改修、阿蘇町、波野村の支所の新築・改築・改修については、庁舎等検討職員部会から出された施設の規模及び概算の事業費を

目途に、今後進めていく。

二、文化ホール（公民館を含む）の建設計画に関する事項

①文化ホールの規模、内容、位置（四月二十七日小委員会での阿蘇町での選定を確認）及び総事業費については、類似市の例を参考に、阿蘇市建設計画に基づき、住民の利活用の仕方、地域経済への波及効果が望め、観光都市としての浮揚を目指した施設について、住民の意見・要望等を十分に考慮し、3町村で引き続き検討していく。

②文化ホールの建設スケジュールについては、平成十六年度用地選定・基本構想計画、平成十七年度用地買収、平成十八年度実施設計、平成十九年度着工を目途に進める。

三、道路アクセス（通称8メートル道路）の整備促進に関する事項

阿蘇市の東西を結ぶ幹線道路の早期建設の促進を図ることを目的とし、三月三十日に「阿蘇市幹線道路整備促進期成会」を立ち上げた。今後、この期成会を中心に、国及び県等関係機関への陳情、調査、研究及び情報収集を実施することとする。

平成十六年七月六日確認



今後の協議会の開催日

※協議会の開催日及び開催時間は毎月第二火曜日午後一時三十分開催を原則としてきましたが、今後は合併事業の都合で変更になることもあります。

期日・会場等については、町村役場、又は合併協議会事務局等にご確認ください。

協議会は傍聴できます

合併協議会の会議は、公開を原則としています。どなたでも傍聴できます。

ただし、傍聴席の数には限りがありますから、傍聴者が多数の場合は会議前に抽選をさせていただく場合があります。

協議会の会議資料は

閲覧することができます

合併協議会の会議録や会議資料は、合併協議会事務局で閲覧することができます。

また、議事録や合併協議会だよりについては、ホームページにも掲載しています。

詳しくは事務局にお尋ねください。

ホームページで情報を公開しています

阿蘇中部3町村合併協議会のホームページを開設しています。協議会の開催状況や合併に関する情報を提供していますので、ご利用ください。

URL <http://www.aso.ne.jp/~asochubu/>

編集 後記

今年の夏は特に暑い日が続いています。まだまだ本格的な暑さは今からだと思いますが、夏といえば甲子園を目指す高校球児が浮かんできます。今年の夏は第一シードの熊本工業が県代表と決まりました。時として、この高校球児の活躍は、地域に力を与えてくれますが、今年はベスト4まで勝ち進んだ水俣高校の活躍が見事なものでした。

我が3町村からも、地元阿蘇高校が3対1で1回戦を勝ち進み、2回戦で強豪文徳に敗れましたが、まず一勝の活躍は見事でした。

また、阿蘇町からは北中出身の鎮西高校エース鞭馬投手が大活躍をしました。他のスポーツでも、次代を担う若者たちが活躍しています。勝ち負けはともかく、日ごろのたゆまぬ練習への努力に、心からの声援を送りたいと思います。

合併協議会も十四年八月一日の夏の盛りに任意協議会として発足し、今日まで丸2年がすぎました。いろいろな角度から合併に対する希望や不安が論議されてきましたが、国家的財政状

況や、少子高齢化の社会現象、地方に課せられた厳しい財政事情から判断して、時代に即応した行政サービスの充実を維持していくために、合併の道が選ばれました。

ここまで議論されるにいたっては、協議会委員始め、町村議会議員、町村長とその面々の思いには、大変な苦悩があったと思います。また、住民の方にも大変なご心配を頂いてきましたが、ついに廃置分合議決に至りました。

住民不安はきつと残されたままだと思えますが、合併を決した苦悩の思いは全国的なものでした。合併を選ばず単独の道を取られた町村の苦悩も大変なものだと思えます。熊本県でも現在六十二の市町村が合併の話合いを進めています。

現在まで長い歴史を持ち、政治・文化・地域性の異なる3町村が、一つになる事は大変なことですが、万全を期して調整に努め、それぞれが抱いた苦悩の思いを、明るく希望の持てる「阿蘇市」発足のエネルギーに変えて、高校球児に負けない努力を重ねていきたいと思えます。